

## 高崎市 耐水化計画（第1回変更）

高崎市下水道局

策定 令和3年7月

変更 令和5年4月

### ① 基本方針

（対象外力および対象施設）

対象施設の位置により、想定浸水深が最も大きくなる外力が異なるため、対象施設の重要度や被災時の社会的影響等も勘案し、施設ごとに対象外力を設定する。

- ・阿久津ポンプ場：烏川（一級河川）の100年確率（計画規模）で発生する洪水
  - ・下佐野ポンプ場：烏川（一級河川）の100年確率（計画規模）で発生する洪水
  - ・上並榎ポンプ場：烏川（一級河川）の100年確率（計画規模）で発生する洪水
  - ・鼻高ポンプ場：碓氷川（一級河川）の100年確率（計画規模）で発生する洪水
- 浸水実績がある場合は実績浸水深とする。

（その他の施設）

洪水浸水想定区域（計画規模）にマンホールポンプ施設が数か所あるが、施設の重要度や被災時の社会的影響等も低いため、当面はBCPに基づく土嚢等の簡易な対策で対応する。

令和元年10月の台風19号により浸水したマンホールポンプ施設は操作盤の嵩上げ等の対策を実施する。

なお、内水浸水想定区域図が作成された場合は改めて施設浸水対策について検討する。

### ② 対象施設及び対策浸水深

施設名称	施設能力（現有）	影響人口	対象外力	対象確率	対策浸水深
上並榎ポンプ場	1.92m <sup>3</sup> /分	4,800	烏川 (1級河川)	100年 (整備計画と同等)	GL+0.5m
下佐野ポンプ場	1.30m <sup>3</sup> /分	1,900	烏川 (1級河川)	100年 (整備計画と同等)	GL+2.1m
阿久津ポンプ場	0.33m <sup>3</sup> /分	350	烏川 (1級河川)	100年 (整備計画と同等)	GL+2.8m
鼻高ポンプ場	1.46m <sup>3</sup> /分	2,100	碓氷川 (1級河川)	100年 (整備計画と同等)	GL+3.0m

※下佐野ポンプ場及び阿久津ポンプ場の対策浸水深は耐水化基本設計業務報告書より

③ 確保すべき機能（短期：5年程度）

施設名称	確保すべき機能	対策施設と関連する主要設備機器	備考
上並榎ポンプ場	揚水機能	ポンプ室：動力設備、監視制御設備、自家発電設備	
下佐野ポンプ場	揚水機能	ポンプ室：動力設備、監視制御設備、自家発電設備	

確保すべき機能（中期：5～10年程度）

施設名称	確保すべき機能	対策施設と関連する主要設備機器	備考
阿久津ポンプ場	揚水機能	ポンプ室：動力設備、監視制御設備、自家発電設備	
鼻高ポンプ場	揚水機能	ポンプ室：動力設備、監視制御設備、自家発電設備	

④ 実施計画（短期：5年程度）

(1)	(2)	(3)	(4)
施設名称	耐水化対象施設	事業内容	備考
上並榎ポンプ場	ポンプ室	土嚢の準備（止水高0.5m・扉3箇所）	別途、静水圧や浮力等に対する対策及び緊急遮断弁等の必要性について検討が必要。検討の結果、対策が必要な場合は実施。
下佐野ポンプ場	ポンプ室	操作盤等の電気設備を高所に移設 電動弁を防水化または無動力化	

④ 実施計画（中期：5～10年程度）

(1)	(2)	(3)	(4)
施設名称	耐水化対象施設	事業内容	備考
阿久津ポンプ場	ポンプ室	建屋を撤去し、電気盤塔を新設、電気系統を屋外に設置	対策に用地購入が必要となる可能性があるため、検討が必要
鼻高ポンプ場	ポンプ室	防水扉の設置、開口部の閉塞、引込計器盤の嵩上げ	築堤事業完成後、再度対策案について検討する

※下佐野ポンプ場及び阿久津ポンプ場の事業内容は耐水化基本設計業務報告書より

※マンホールポンプ施設は順次、操作盤等を嵩上げし耐水化対策を実施する